

施策	4102 救急医療体制の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	急患センター・小児救急医療の充実強化、夜間救急における病院群輪番制病院の確保等を図るなど、万一の急病時に適切な救急医療を受けられる環境を整える。						
成果指標	急患センター年間延利用者数...5,800人（平成29年度目標値）（現状値5,746人）						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [ 人 ]	予定	5,800.00	5,800.00	5,800.00	5,800.00	5,800.00
		実績	6,237.00	6,197.00	5,816.00	7,772.00	
	成果指標2 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標3 [ ]	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 [ ]	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	154,426	152,726	146,583	131,413	0
実績		154,424	152,684	151,845	130,828		
内部評価	貢献度	基本方針が目指す姿である、身近な医療から救急医療まで様々な段階の医療を受けられる環境の整備に大きく貢献するものである。					
	達成状況	休日及び夜間の通常では医療機関にかかりにくい時間帯に、急な病気や怪我でも安心して診療を受けられる救急医療体制を確保できた。					
	課題	とちぎメディカルセンターしもつがが開院し、救急医療充実のためさらなる連携強化が必要である。					
	取組方針	救急医療体制の充実のため、とちぎメディカルセンター、市医師会などの関係先と協議を進める。					
外部評価	成果指標である「急患センター年間延利用者数」については、目標を大きく上回っていることから、救急医療体制は満足 of いく体制が整っていると感じる。 一次救急医療については、急患センターの存在が浸透し、その役割を十分にはたしているとともに、小児救急では、子育て世代の安心感に寄与していることは評価できる。						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	272201	急患センター管理運営委託事業費				35,883	100
	272301	病院群輪番制病院運営等補助事業費				74,587	100
	272501	除細動器整備事業費				1,442	100
	273101	小児二次救急医療支援補助金				18,732	100
	274106	健康増進事務費（岩舟）				184	1
	272401	病院群輪番制病院設備整備補助金					0

平成28年度

単位 施策評価表 補表

施策	4102 救急医療体制の充実		
区分	妥当性	妥当	救急医療体制を整える上で必要な事業であり妥当である。
	コスト削減の余地	無	救急医療体制の整備のためコスト削減は困難である。
	受益者負担	適正	救急医療に対する適正な診療報酬を負担いただいている。
	上位貢献度	有効	地域医療全体の満足度につながるため貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	類似事業はない。
	成果向上の余地	有	時間外の救急診療については、適正受信を啓発しつつ安心して診療が受けられる体制作りを目指す。
内部評価	貢献度	地域医療の充実や、救急医療の充実を図るうえで、この事業の貢献度は高い。急患センター事業や病院群輪番制病院等の充実を図り、市民満足度の向上を目指す。	
	達成状況	急患センターの利用者は、目標値を大きく上回っている。平成28年度より日曜日夜間に小児科医による診療を同施設で開始したため、利用者の大幅な増加につながった。	
	課題	時間外の救急医療の適正受診の啓発や、かかりつけ医の普及が課題である。	
	取組方針	休日夜間における救急医療体制の充実のため、医師会や、関係機関との連携を密にし、地域医療体制の充実を図る。	

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	272201	事業区分	04	義務的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	急患センター管理運営委託事業費										主	4102	医療体制の充実	救急医療体制の充実	
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 地域医療対策係					担当者	石川交子					従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等			事業期間	H02 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	1,097,628		千円			
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市民が安心して暮らせるよう、また二次救急医療機関への患者集中が緩和されるよう、休日及び夜間に入院治療の必要がない軽症の急病患者を受け入れる診療所として、栃木地区急患センターを設置する。【主要事業】</p>										達成目標	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 休日及び夜間の通常では医療機関にかかりにくい時間帯に、急な病気や怪我でも安心して診療を受けられる救急医療体制を継続的に確保する。</p>			

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	平成27年度		平成28年度		
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業内容】 栃木地区急患センターの管理運営について、栃木市医師会を指定管理者に指定して実施。1市1町(壬生町)で負担。		【事業内容】 栃木地区急患センターの管理運営について、栃木市医師会を指定管理者に指定して実施。1市1町(壬生町)で負担。	
	県支出金	0	0	診療時間 休日 午前9時～午後9時 平日 午後7時～午後10時		診療時間 休日 午前9時～午後9時 平日 午後7時～午後10時 日曜日 午後6時～午後9時(小児科)	
	地方債	0	0	【成果】 5,816名の利用があった。 630名の小児科利用があった。		【成果】 6,942名の利用があった。 830名の小児科利用があった。	
	その他特財	1,921	2,046	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価
	一般財源	31,615	32,337	利用者数	利用者数 H28目標値 6,500人	人	妥当性
	事業費 a	33,536	34,383	委託料	委託料 H28目標値 34,000千円	千円	コスト削減の余地
	人件費 b	1,500	1,500				受益者負担
減価償却費 c	0	0				上位貢献度	
総事業費 a+b+c	35,036	35,883				類似事業の有無	
結果指標 1	6,446.00	7,772.00				成果向上の余地	
結果指標 2	33,402.00	34,000.00					

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 救急医療の適正利用について各戸にチラシを配布した。特に救急医療機関の役割分担について周知し、軽症患者が二次救急医療機関に集中することを防ぐようにした。結果として、急患センターの大幅な利用者増になった。					
--------	--	--	--	--	--	--

事後評価備考	一定の利用があり、市民に安心を与えている。また二次救急医療機関の疲弊緩和に貢献できている。
--------	---